

勢多と多へと勅むる詞小權六舟まをりて、  
 門く水小飽る体あり。此上の唯款小向ひ戦死なして没を身  
 じまが遠水筒もへりせん。先祭軍の奉るこめ小赤破らんと大  
 ち力知れたぬた桶をたるとと吹放すべ利利く一戸等編り桶板  
 ち八方小散礼して情味よげ小碎を鞭くと大笑はし。所便馬小ひらりと  
 うら湾。魏く無と一と馳察らる。方儀猪家が桶を碎き出軍せし  
 心せりふ小殺率小必死の意を志ゆ。勇軍を烈まさんぐ為小形  
 ちかへしはるゆけ小こそ

繪本豊臣勲功記之編巻之七終